ネットQ送受信機

QRS-70B
通信アプリケーション
取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

101294R06

目 次

1. 概　説 1
《特　長》 1
動作環境（推奨） 1
2. 機能チェック 2
1. 構　成 2
2. インストール CD 2
3. 起動までの手順 2
3. インストール、アンインストール 3
1. QRS-70B 通信アプリケーションをインストール 3
2. QRS-70B 通信アプリケーションをアンインストール 3
4. ウィンドウ構成 4
5. 基本動作 8
1. 基本動作チェック 8
6. 各ウィンドウの機能説明 9
1. メインウィンドウ 9
2. TAKE/TALLY 設定ダイアログ 10
3. ファンクション編集ダイアログ 11
3-1. パケット送出（ARIB STD-B39 準拠）詳細設定ダイアログ 12
3-1-1. パケットパターン設定ダイアログ 13
3-2. パケット送出（任意のパターン）詳細設定ダイアログ 17
3-3. チェンジトリガー詳細設定ダイアログ 18
3-4. アラーム詳細設定ダイアログ 18
3-5. パケット情報表示設定変更ダイアログ 19
4. イベント編集ダイアログ 21
5. パケット情報表示設定ダイアログ 23
6. パケット送出ダイアログ 25
7. パケットキャプチャーダイアログ 26
8. 本体制御ログダイアログ 27
9. 通信設定ダイアログ 27
10. 設定転送ダイアログ 28
11. 設定取得ダイアログ 29
7. トラブルシューティング 30
8. ピン変換ケーブル仕様 31

1. 概　説

QRS-70B 通信アプリケーションは、QRS-70B のプリセットの作成、転送、取得や、パケット送出、キャプチャーを行うアプリケーションです。

用語についての詳しい解説は、ARIB STD-B39 規格書及び別冊の「QRS-70B 取扱説明書」を参照してください。

《特　長》

・QRS-70Bの正面モジュールで設定できる項目を全て設定

・QRS-70Bのプリセットをファイルで保持

・ライン入力の代わりに任意のパケットをQRS-70Bに流し込み可能

・QRS-70Bの入出力パケットをキャプチャー可能

動作環境（推奨）

・OS:　　Windows XP/Vista/7

・CPU:　　Pentium4　1GHz以上

・RAM:　　512MB以上

・ハードディスク空き容量: 300MB以上

・モニター: 1280×1024ピクセル以上　65536色以上

・シリアル通信:　　RS-422

通信を行うためには、パソコンのUSB、RS-232Cポートなどから RS-422に変換する必要があります。

お客様でご用意していただくか、弊社オプションUSB-422をお求めください。

弊社動作確認環境:

ネットメカニズム株式会社UTS-422（USB⇔RS-422変換）、

専用ピン変換ケーブル（ケーブル仕様についてはP-31「専用ピン変換ケーブル仕様」を

参照してください。）

2. 機能チェック

1. 構　成

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	QRS-70B 通信アプリケーション インストール CD		1	システム毎に 1 枚

2. インストール CD

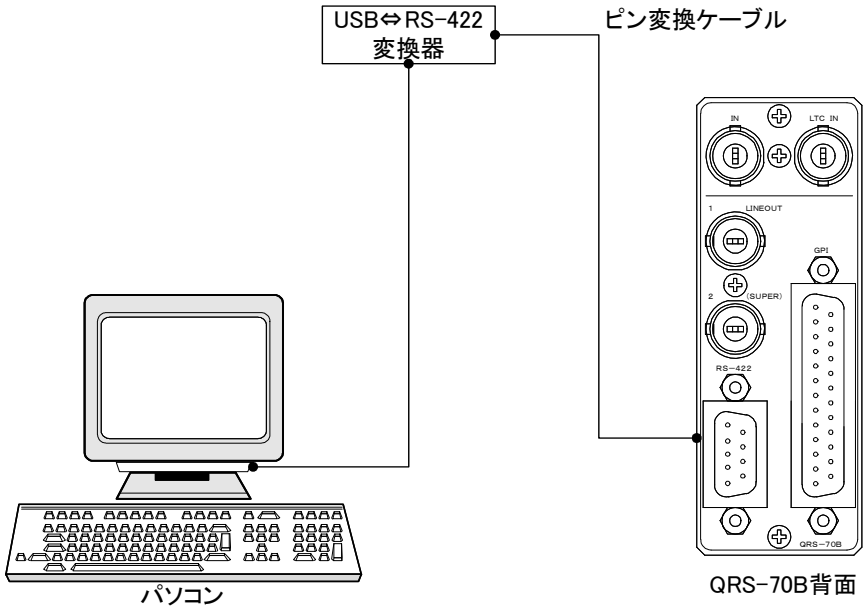
インストール CD には、以下のファイルが収録されています。

・QRS-70COM Installer.msi　　インストーラーです。
・QRS-70B 通信アプリケーション取扱説明書_RXX.pdf　　本書です。

3. 起動までの手順

以下の操作はアプリケーションがインストールされている状態から行います。インストールが済んでいない場合は「3.インストール、アンインストール」を参照し、インストールを行ってください。

(1) PCとQRS-70BがRS-422で接続されている事を確認します。



(2) Vbusの電源を投入しQRS-70Bを起動します。

(3) PCを起動しWindowsにログインします。

(4) スタートメニューのアプリケーションから[VIDEOTRONｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ] - [QRS-70B通信アプリケーション]を選択してアプリケーションを起動します。

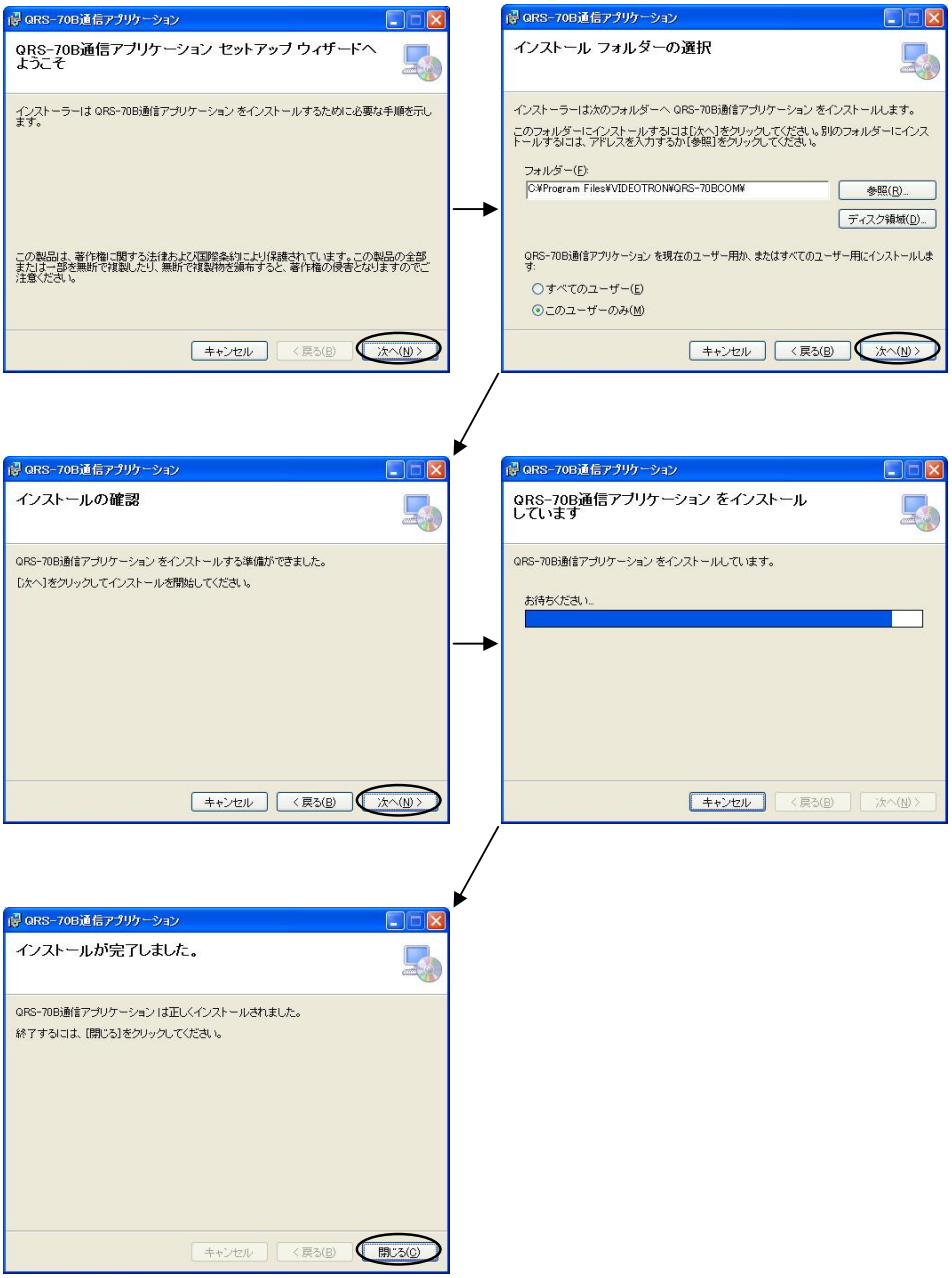
3. インストール、アンインストール

1. QRS-70B 通信アプリケーションをインストール

QRS-70B通信アプリケーションのインストールは、以下の手順で行います。

（1）インストール CD にあるファイル「QRS-70BCOM Installer.msi」をダブルクリックしてください。

（2）画面上には次のようなダイアログが順番に表示されます。丸印のついた場所をクリックして
インストールを進めてください。



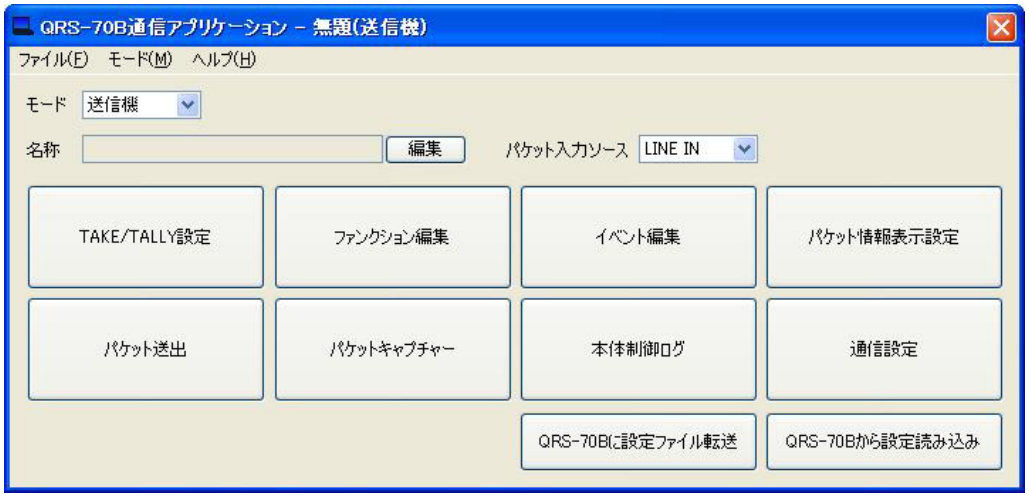
2. QRS-70B 通信アプリケーションをアンインストール

コントロールパネルのプログラムの追加と削除から「QRS-70B 通信アプリケーション」を選択し削除を行います。

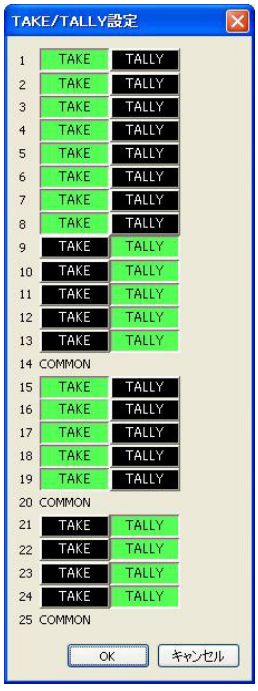
4. ウィンドウ構成

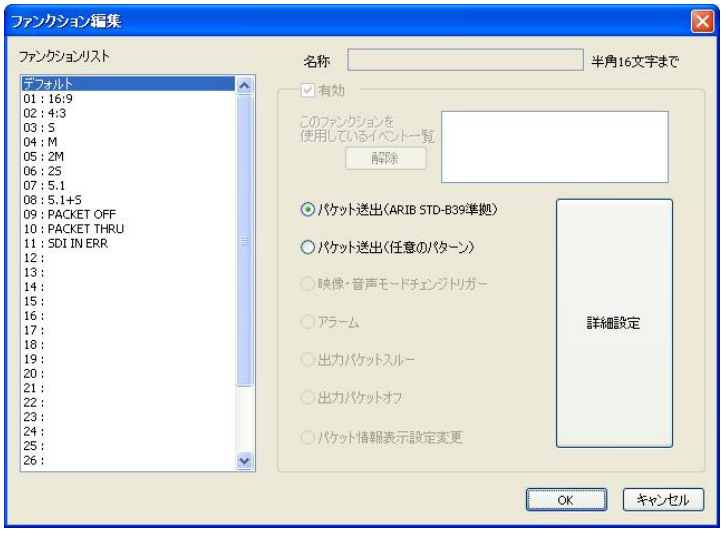
メインウィンドウ、TAKE/TALLY 設定ダイアログ、ファンクション編集ダイアログ、イベント編集ダイアログ、パケット情報表示設定ダイアログ、パケット送出ダイアログ、パケットキャプチャーダイアログ、本体制御ログダイアログ、通信設定ダイアログ、設定転送ダイアログ、設定取得ダイアログから構成されます。

メインウィンドウ

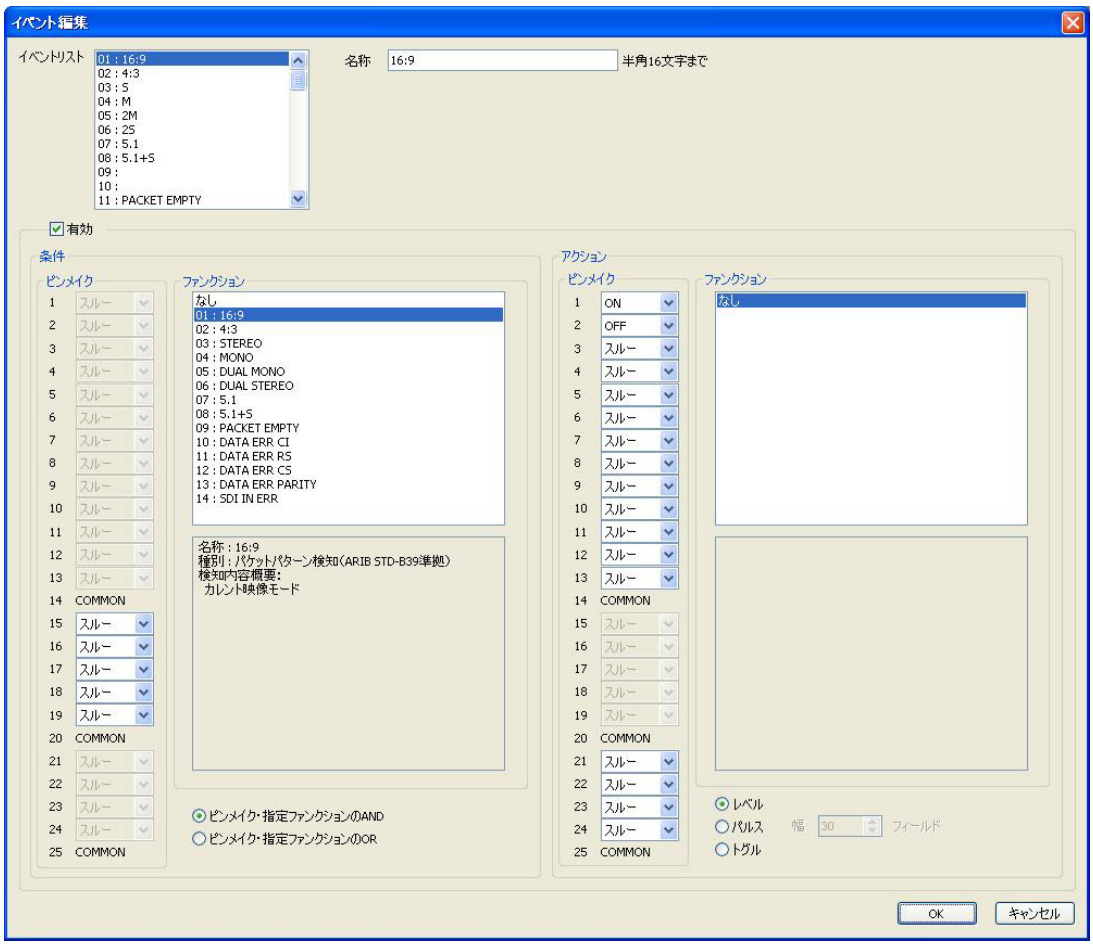


TAKE/TALLY設定ダイアログ　　ファンクション編集ダイアログ





イベント編集ダイアログ

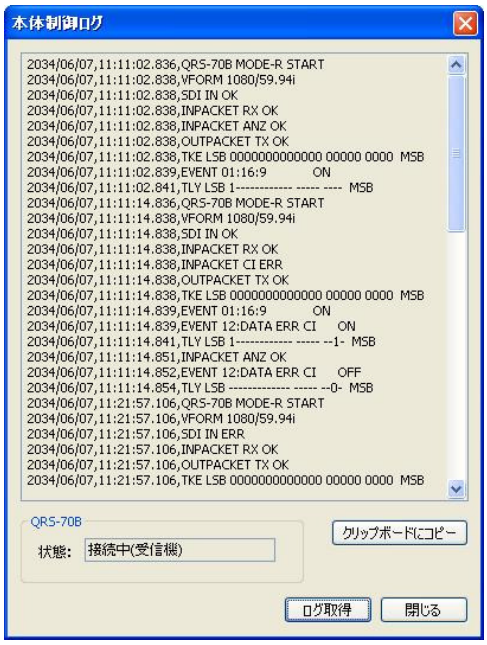


パケット情報表示設定ダイアログ

パケット送出ダイアログ

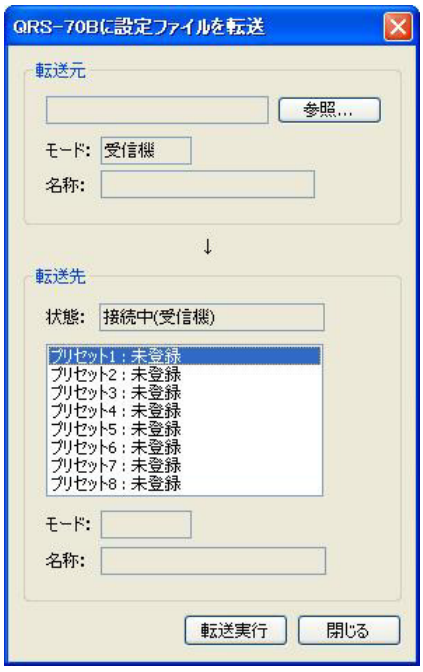
パケットキャプチャーダイアログ

本体制御ログダイアログ

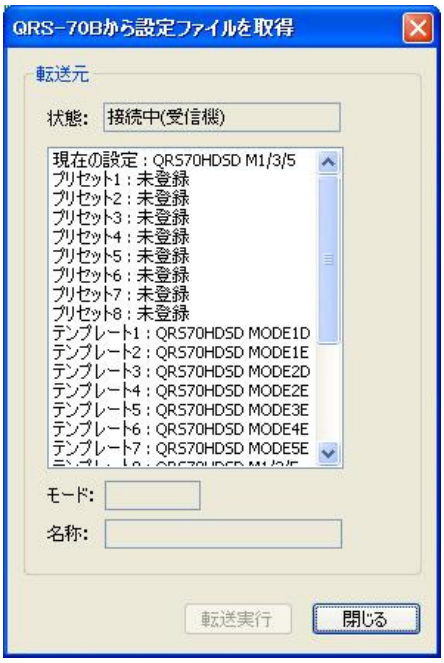


通信設定ダイアログ

設定転送ダイアログ



設定取得ダイアログ



5. 基本動作

1. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。

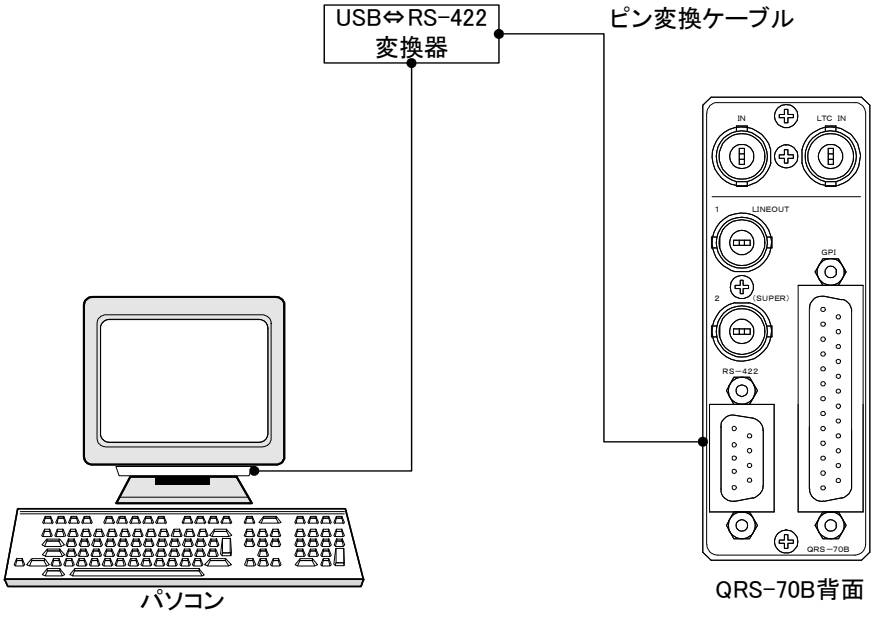
正常に動作しない場合は、P-30「7.トラブルシューティング」を参照してください。

(1)パソコンに本アプリケーションをインストールします。

(2)パソコンとQRS-70Bを接続します。

1)パソコンとQRS-70BのRS-422コネクターをRS-422ケーブルで接続します。

USB ポートを使用する際は、「USB⇔RS-422 変換器」→「ピン変換ケーブル」→「QRS-70B」の形で接続してください。



2)本アプリケーションを起動します。

通信設定ダイアログから通信に使用するCOMポートを選択します。

(3)Vbus筐体の電源スイッチを投入します。

(4)QRS-70Bプリセットの取得

1)取得するQRS-70Bがメニュー画面を表示していないことを確認します。

2)「QRS-70Bから設定読み込み」ボタンをクリックします。

3)状態が「接続中(送信機)」または「接続中(受信機)」になっていることを確認します。

(「切断中またはメニュー中」が表示された場合、正しく接続できていません。筐体電源、ケーブルの接続、QRS-70Bがメニュー表示中になっていないかを確認してください。)

4)リストからテンプレート1を選択し、「転送実行」をクリックしてください。

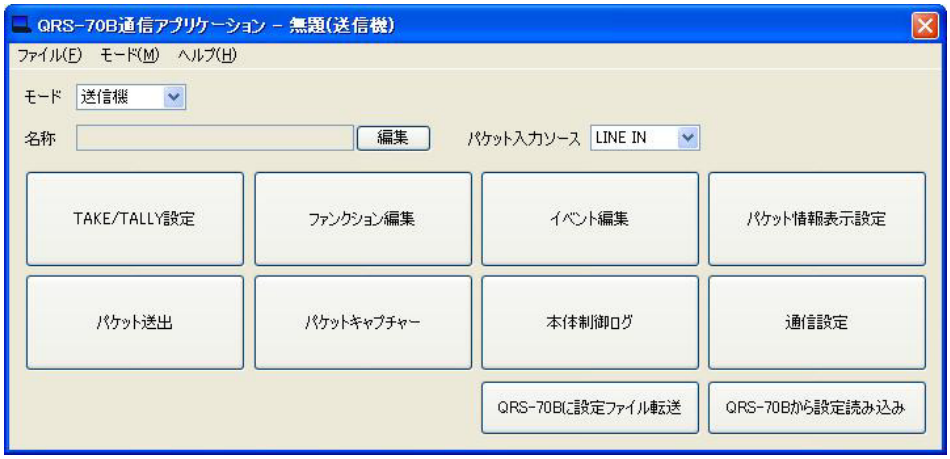
ファイル保存先指定ダイアログが表示されますので、名前を決めて「保存」をクリックします。

5)テンプレート1の設定内容がファイルに保存されます。

6. 各ウィンドウの機能説明

1. メインウィンドウ

QRS-70Bの各種設定、設定情報の表示ができます。



アプリケーション起動時に表示されるウィンドウです。

メニューバー

ファイル

新規作成	:現在のモード(送信機/受信機)でプリセットを新規作成します。
開く	:プリセットファイルを読み込みます。
上書き保存	:現在編集中のプリセットをパソコン上に上書き保存します。
名前を付けて保存	:現在編集中のプリセットをパソコン上に別名で保存します。
終了	:アプリケーションを終了します。

モード

受信機	:編集中のプリセットを受信機モードに切り替えます。
送信機	:編集中のプリセットを送信機モードに切り替えます。
通信設定	:通信設定ダイアログを表示します。(→P-27)

ヘルプ

取扱説明書の表示	:取扱説明書(この文書です)のPDFファイルを開きます。 PDFファイルを閲覧できる環境が必要です。
バージョン情報	:本アプリケーションのバージョン情報を表示します。

メインウィンドウ

モード	:現在編集中のプリセットの送信機/受信機モードを表示します。 選択状態を変更することで、モードの変更を行うことができます。 設定中の値は基本的にモード変更後も引き継がれますが、 引き継ぎ不可の設定値は初期化されます。 初期化された設定値は、モード変更後に一覧表示されます。

名称　　:このプリセットの名称を表示します。
「編集」ボタンをクリックすると、名称の編集ができます。
半角英数、カタカナ16文字以内で設定してください。

パケット入力ソース　　:このプリセットのパケット入力ソースを表示します。
「LINE IN」または「RS-422」から選択します。

TAKE/TALLY設定　　:TAKE/TALLY設定ダイアログを表示します。(→P-10)

ファンクション編集　　:ファンクション編集ダイアログを表示します。(→P-11)

イベント編集　　:イベント編集ダイアログを表示します。(→P-21)

パケット情報表示設定　　:パケット情報表示設定ダイアログを表示します。(→P-23)

パケット送出　　:パケット送出ダイアログを表示します。(→P-25)

パケットキャプチャー　　:パケットキャプチャーダイアログを表示します。(→P-26)

本体制御ログ　　:本体制御ログダイアログを表示します。(→P-27)

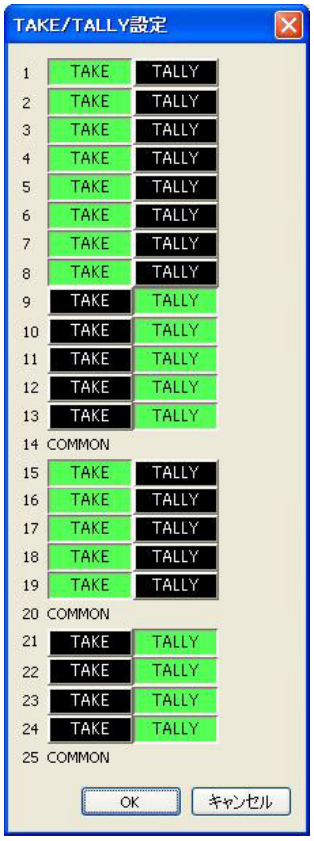
通信設定　　:通信設定ダイアログを表示します。(→P-27)

QRS-70Bに設定ファイル転送:設定転送ダイアログを表示します(→P-28)

QRS-70Bから設定読み込み:設定取得ダイアログを表示します。(→P-29)

2. TAKE/TALLY 設定ダイアログ

このプリセットの、GPIコネクターの入出力を設定します。

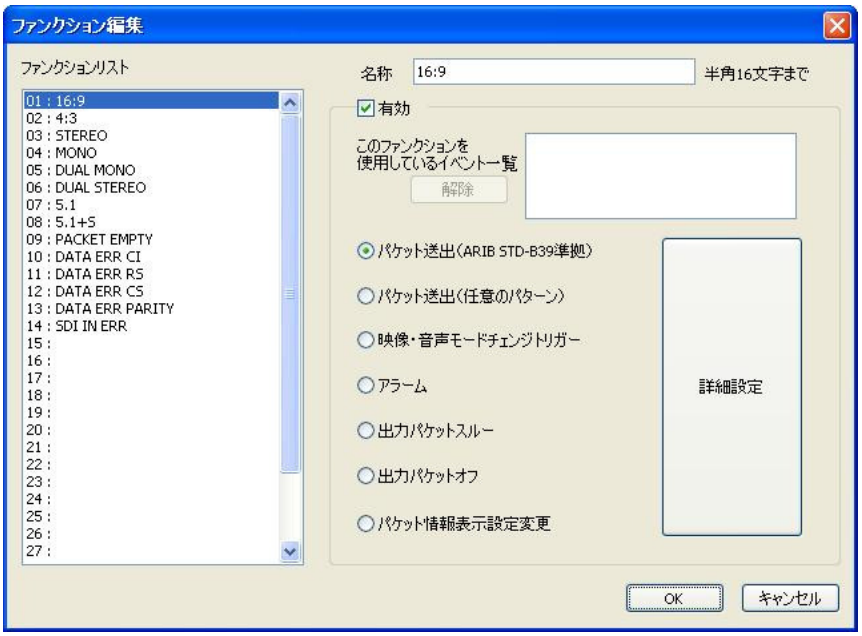


ピンごとに入力(TAKE)、出力(TALLY)をクリックして選択状態(緑色)にします。

「OK」ボタンをクリックすると設定が有効になります。

3. ファンクション編集ダイアログ

このプリセットのファンクションを設定します。



ファンクションリストから、編集を行うファンクションを選択します。(デフォルトは、送信機モードでのみ表示されます)

ファンクションリストを右クリックすると、選択したファンクションのコピー、削除等が行えます。

名称を変更する場合は、「名称」のテキストボックスに半角英数カタカナ16文字以内で入力します。

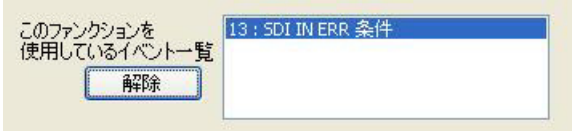
ファンクションを使用する場合は「有効」チェックボックスをONにします。

ファンクションの種類をラジオボタンから選択し、「詳細設定」でファンクションの種類ごとの詳細設定ダイアログを表示します。

編集を行うファンクションが既にイベントで使用されている場合、ファンクションの種類を変更することはできません。また、アラームファンクションをイベントで使用している場合、アラーム設定の変更を行うことはできません。

このような場合、「このファンクションを使用しているイベント一覧」リストボックスに使用イベント一覧が表示されます。「解除」をクリックすると、これらのイベントから編集ファンクションの割り当てが解除され、ファンクションの編集が可能になります。

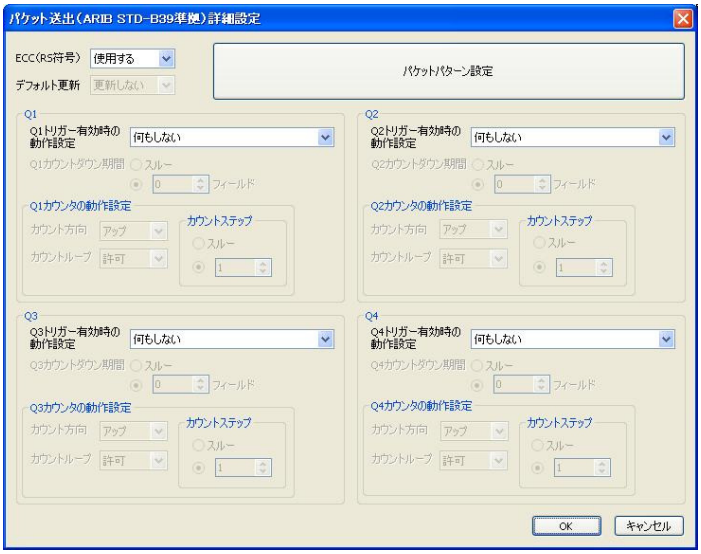
編集後、イベント編集ダイアログ(→P-21)でファンクションを割り当て直してください。



「OK」ボタンをクリックすると設定が有効になります。

3-1. パケット送出（ARIB STD-B39 準拠）詳細設定ダイアログ

ファンクションの種類で「パケット送出（ARIB STD-B39準拠）」を指定して「詳細設定」ボタンをクリックしたときに表示されるダイアログです。



パケットパターン設定　　：パケット送出（ARIB STD-B39準拠）の
パケットパターン設定ダイアログを表示します。

ECC（RS符号）　　：誤り訂正符号の使用を設定します。
使用する：誤り訂正符号を使用する
使用しない：誤り訂正符号を使用しない
スルー：変更しない（デフォルトファンクション設定時は非表示）

デフォルト更新　　：デフォルト状態の更新を指定します。
デフォルトファンクション設定時は選択できません。
更新する：デフォルト状態を更新する
更新しない：デフォルト状態を更新しない

Qxトリガー有効時の動作設定：QxトリガーがONになったときの動作内容を選択します。
カウンタ操作のみ ： Qxカウンターを操作する
カウントダウンのみ ： Qxカウントダウンを行う
カウントダウンとカウンタ操作を同時に行う ： Qxカウンター操作と同時にQxカウントダウンを行う
カウントダウン終了後カウンタ操作 ： Qxカウントダウンを行い、カウントダウン終了後、Qxカウンターを操作する
何もしない ： 何もしない
スルー ： 変更しない（デフォルトファンクション設定時は非表示）

Qxカウントダウン期間　　：Qxカウントダウンの値をフィールド単位で設定します。
「スルー」はデフォルトファンクション設定時は選択できません。

カウント方向　　:Qxカウンターのカウント方向を設定します。

アップ ： カウントアップ

ダウン ： カウントダウン

スルー ： 変更しない（デフォルトファンクション設定時は非表示）

カウントループ　　:Qxカウンターが上限または下限に達したとき、
カウント値のループを許可するかを設定します。

許可 ： ループを許可する

禁止 ： ループを禁止する

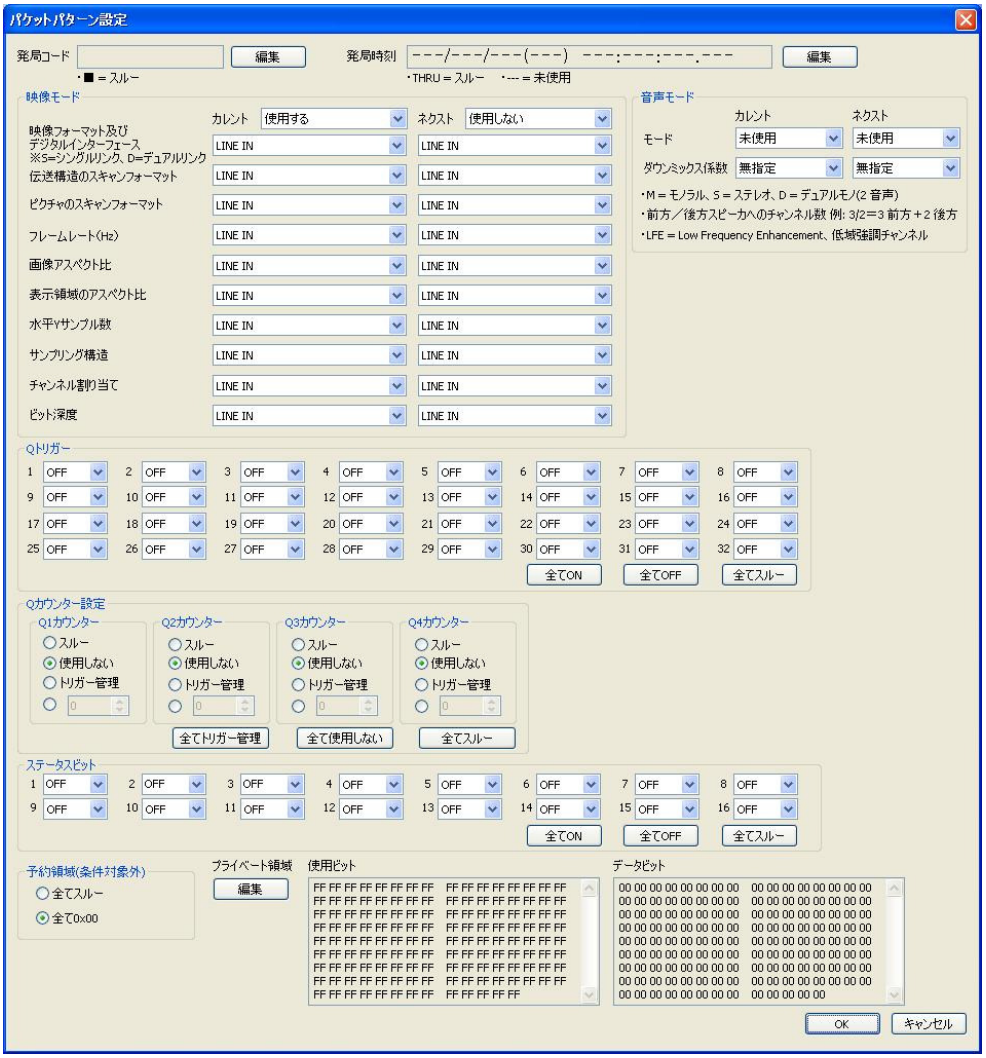
スルー ： 変更しない（デフォルトファンクション設定時は非表示）

カウントステップ　　:Qxカウンターのカウントステップを1～254の範囲で設定します。
「スルー」はデフォルトファンクション設定時は選択できません。

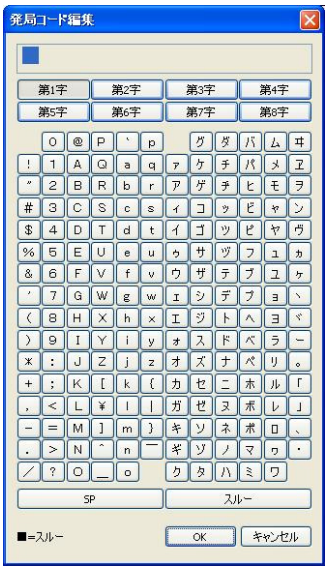
「OK」ボタンをクリックすると設定が有効になります。

3-1-1. パケットパターン設定ダイアログ

「パケットパターン設定」ボタンをクリックしたときに表示されるダイアログです。



発局コード　　：発局コードを表示します。「■」はスルーを意味します。
「編集」ボタンをクリックすると、発局コード編集ダイアログを
表示します。



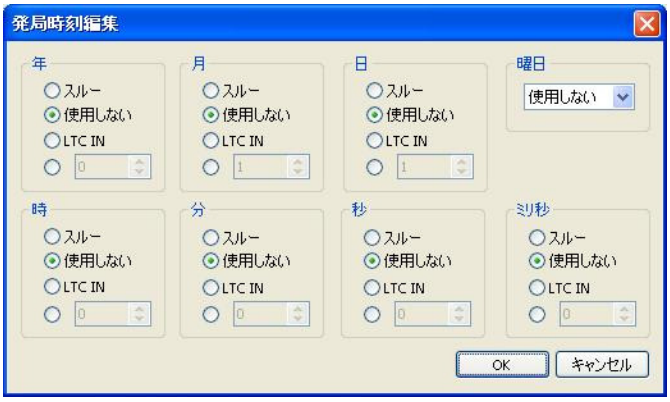
「第 x 字」ボタンをクリックすると、
編集を行う文字位置を指定できます。

文字を決定すると編集位置が 1 文字分
後ろへ移動します。

「SP」ボタンはスペースです。
「スルー」ボタンはスルーです。その文字
は変更されません。

「OK」ボタンをクリックすると設定が
有効になります。

発局時刻　　：発局時刻を表示します。「THRU」はスルーを意味し、
「---」は未使用を意味します。
「編集」ボタンをクリックすると、発局時刻編集ダイアログを
表示します。



年(0～99)、月(1～12)、日(1～31)、時(0～23)、分(0～59)、
秒(0～59)、ミリ秒(0～999)を設定します。
スルー ： 変更しない
使用しない ： 使用しない
LTC IN ： LTC INに入力されているLTCを使用する ※
数値 ： 設定可能範囲は上記の項目名を参照
※ミリ秒は、LTCのフレームに約33をかけた値に変換されます。

「OK」ボタンをクリックすると設定が有効になります。

映像モード　　:映像モードの設定を表示します。左側の列はカレント映像モード、右側の列はネクスト映像モードです。

（使用設定）　　:名前はありませんが、一番上に表示されているコンボボックスです。映像モードの使用設定を行います。

スルー ： 変更しない

使用する ： 使用する

使用しない ： 使用しない

映像フォーマットおよびデジタルインターフェース:
伝送構造のスキャンフォーマット:
ピクチャのスキャンフォーマット:
フレームレート（Hz）　:
画像アスペクト比　:
表示領域のアスペクト比　:
水平Yサンプル数　:
サンプリング構造　:
チャンネル割り当て　:
ビット深度　:

グレーの囲み線の設定内容は、ARIB STD-B39の規格に準拠しています。
詳細は ARIB STD-B39 の規格書か、別冊「QRS-70B 取扱説明書」を参照してください。

以下は共通項目です。

スルー ： 変更しない

LINE IN ： LINE IN に入力されている映像フォーマットに従う

音声モード　　:音声モードの設定を表示します。左側の列はカレント音声モード、右側の列はネクスト音声モードです。

スルー ： 変更しない

その他の項目 ： ARIB STD-B39の規格書か、別冊「QRS-70B取扱説明書」を参照してください。

Qトリガー　　:Q1～Q32トリガーの設定を行います。

スルー ： 変更しない

ON ： ON

OFF ： OFF

「全てON」、「全てOFF」、「全てスルー」でQ1～Q32トリガーを一括設定します。

Qカウンター設定　　:Q1～Q4カウンターの設定を行います。

スルー ： 変更しない

使用しない ： 使用しない

トリガー管理 ： QRS-70B内部カウンターを使用する

※Qトリガーの入力などでカウントアップ等を行いたい場合は「TRIGGER」を指定します。

数値 ： 直接指定。0～254の範囲で設定する

「全てトリガー管理」、「全て使用しない」、「全てスルー」でQ1～Q4カウンターを一括設定します。

ステータスビット　　:ステータスビット1～16の設定を行います。

スルー ： 変更しない

ON ： ON

OFF ： OFF

「全てON」、「全てOFF」、「全てスルー」でステータスビット1～16を一括設定します。

予約領域（条件対象外）　　:予約領域64ワード分の値を一括設定します。

この設定は、イベント条件には無効です。

アクションにのみ適用されます。

全てスルー ： 予約領域を全てスルーにする

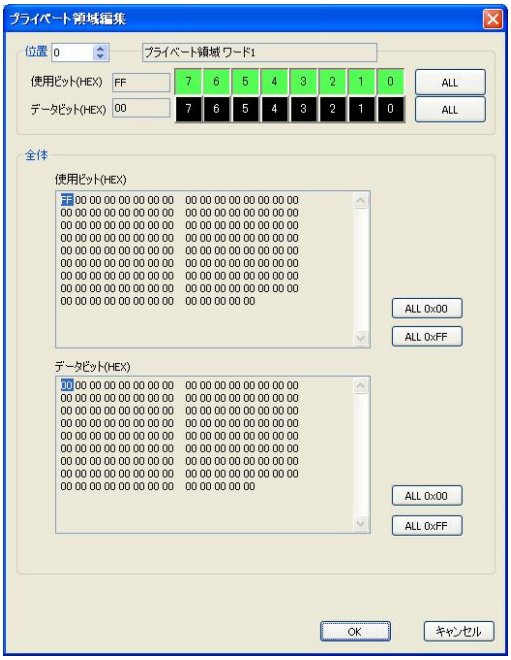
全て0x00 ：予約領域を全て0にマスク

プライベート領域　　:プライベート領域を表示します。

使用ビットは、0になっているビットはスルーを意味します。

データビットは、実際に使用するデータ内容です。

「編集」をクリックすると、プライベート領域編集ダイアログを表示します。



「位置」でワード位置を移動し、使用ビット、データビットをボタンで設定します。「ALL」をクリックすると、全てのビットを有効または無効に一括設定されます。

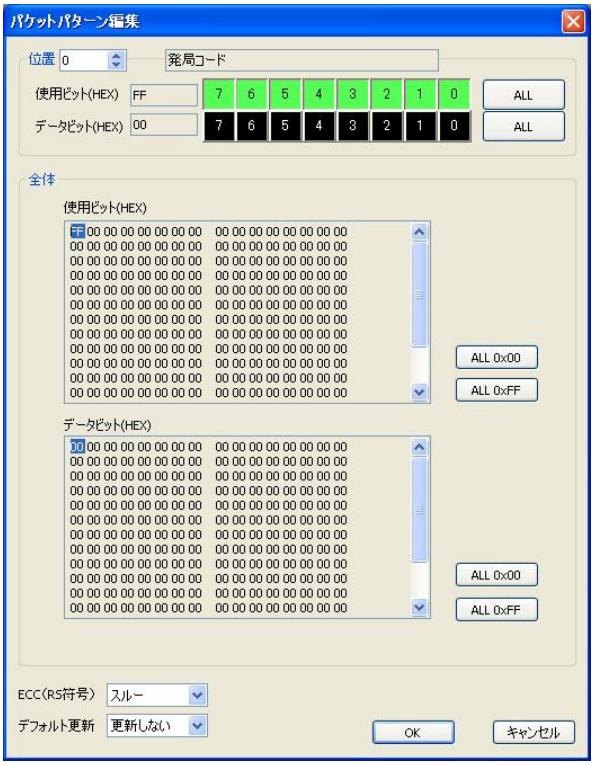
全体使用ビット、データビットの「ALL 0x00」、「ALL 0xFF」をクリックすると、全てのワードを一括設定します。

「OK」ボタンをクリックすると設定が有効になります。

「OK」ボタンをクリックするとパケットパターン設定が有効になります。

3-2. パケット送出（任意のパターン）詳細設定ダイアログ

ファンクションの種類で「パケット送出（任意のパターン）」を指定して「詳細設定」ボタンをクリックしたときに表示されるダイアログです。



位置	:ワード位置を指定します。 ワード位置によって、隣のテキストボックスにワード名が 表示されます。
使用ビット	:使用するビットをボタンで設定します。「ALL」をクリックすると、 全てのビットを有効または無効に一括設定されます。
データビット	:データ部分をボタンで設定します。「ALL」をクリックすると、 全てのビットを有効または無効に一括設定されます。
全体	:現在のパケットパターンを使用ビット、データビットに分けて 表示しています。使用ビット、データビットの「ALL 0x00」、 「ALL 0xFF」をクリックすると、全てのワードを一括設定します。
ECC（RS符号）	:誤り訂正符号の使用を設定します。 *使用する*:誤り訂正符号を使用する *使用しない*:誤り訂正符号を使用しない *スルー*:変更しない（デフォルトファンクション設定時は非表示）
デフォルト更新	:デフォルト状態の更新を指定します。 デフォルトファンクション設定時は選択できません。 *更新する*:デフォルト状態を更新する *更新しない*:デフォルト状態を更新しない

「OK」ボタンをクリックするとパケットパターン設定が有効になります。

3-3. チェンジトリガー詳細設定ダイアログ

ファンクションの種類で「チェンジトリガー」を指定して「詳細設定」ボタンをクリックしたときに表示されるダイアログです。

チェンジ　　:映像、音声モードのチェンジを行うかをチェックボックスで指定します。

チェンジ時間　　:チェンジするまでの時間を0～254フィールドの範囲で設定します。

「OK」ボタンをクリックするとチェンジトリガー設定が有効になります。

3-4. アラーム詳細設定ダイアログ

ファンクションの種類で「アラーム」を指定して「詳細設定」ボタンをクリックしたときに表示されるダイアログです。

それぞれのエラーについて監視、生成を行うかを指定します。
詳細は別冊「QRS-70B 取扱説明書」を参照してください。

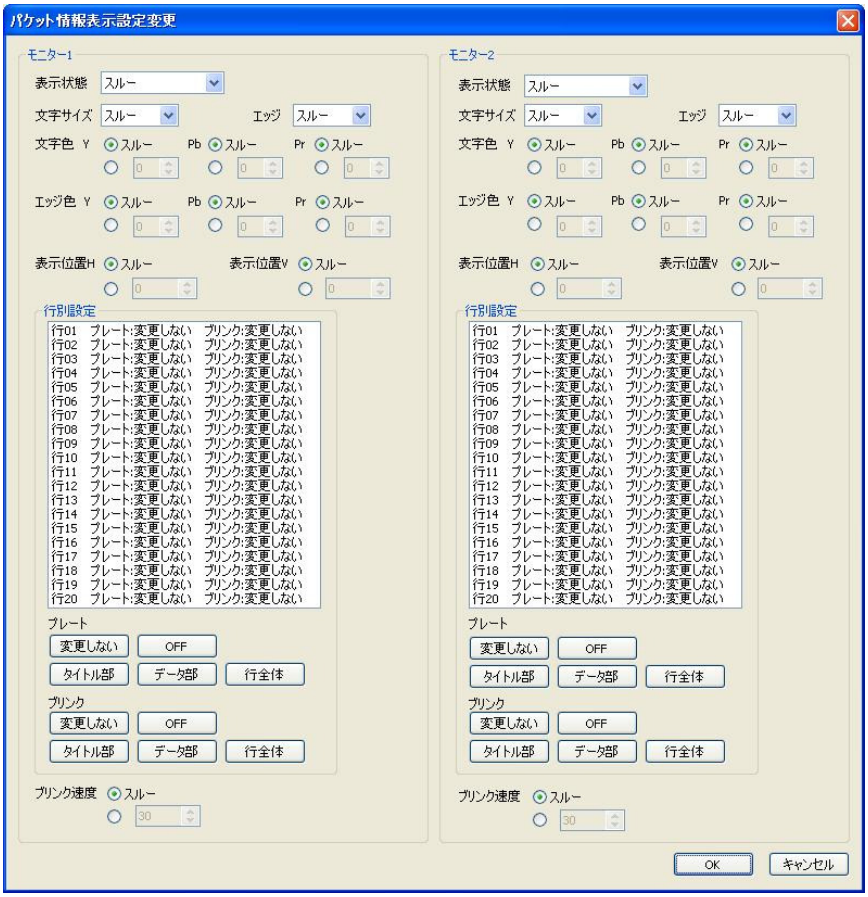
以下は共通項目です。
使用する ： 監視、生成を開始する
使用しない ：監視、生成を終了する
スルー ： 変更しない

「SDI 入力断」、「パケット入力断」は、
イベントのアクションには指定できません。

「OK」ボタンをクリックするとアラーム設定が有効になります。

3-5. パケット情報表示設定変更ダイアログ

ファンクションの種類で「パケット情報表示設定変更」を指定して「詳細設定」ボタンをクリックしたときに表示されるダイアログです。モニター1と2の設定変更を行います。



表示状態	:表示状態の設定を行います。
	ON ： 表示する
	OFF ： 表示しない
	スルー ： 変更しない
文字サイズ	:文字サイズの設定を行います。
	大 ： 文字サイズ「大」で表示
	小 ： 文字サイズ「小」で表示
	スルー ： 変更しない
エッジ	:エッジ表示の設定を行います。
	ON ： 表示する
	OFF ： 表示しない
	スルー ： 変更しない
文字色、エッジ色	:色の設定を行います。「Y」、「Pb」、「Pr」ごとに設定します。
	スルー ： 変更しない
	数値 ： 0～15の範囲で設定します。

表示位置H、V　　:表示位置を設定します。「H」は横方向、「V」は縦方向です。
スルー ： 変更しない
数値 ： Hは0～1919、Vは0～1079の範囲で設定します。

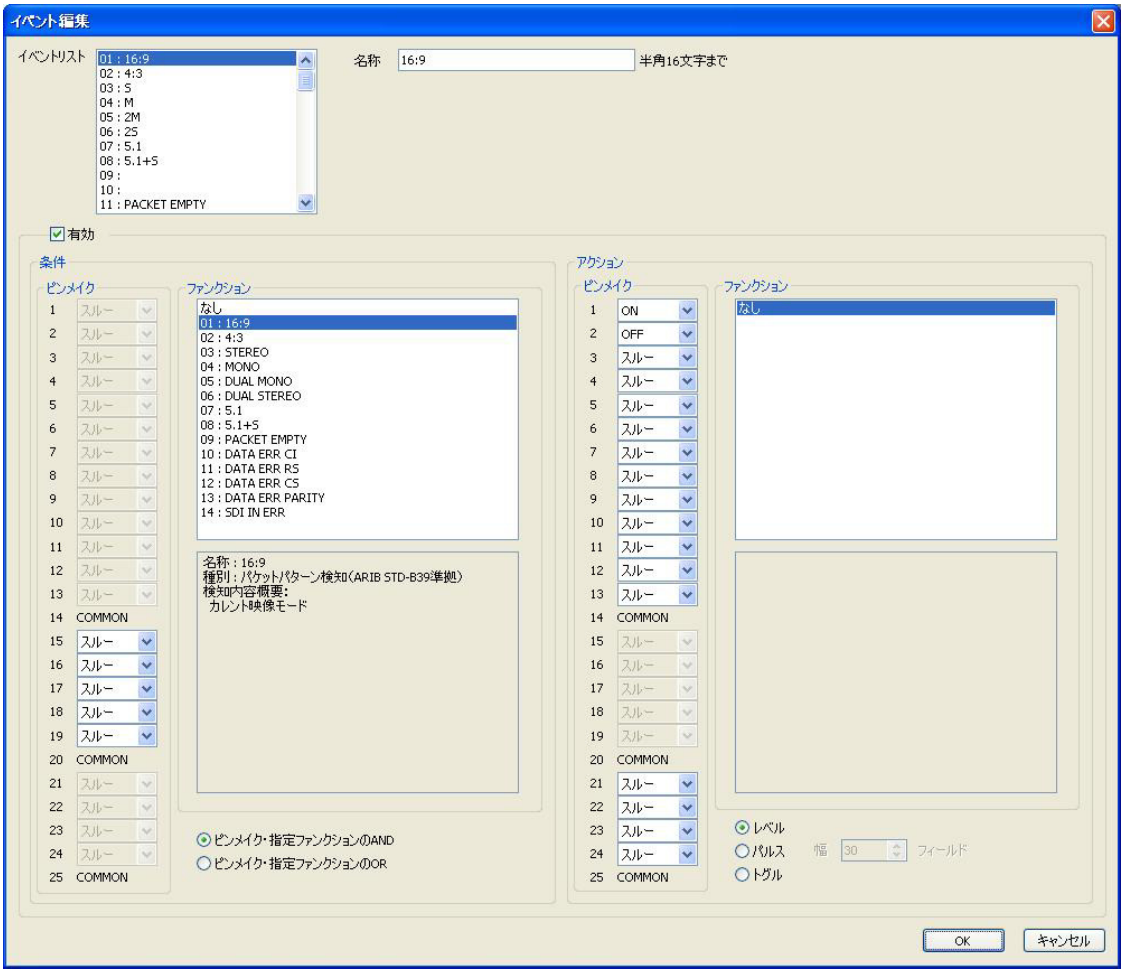
行別設定　　:行ごとのプレート、ブリンク設定を行います。
リストボックスから設定を行う行を選択し、
プレート、ブリンクそれぞれの設定を行います。
変更しない ： 変更しない
OFF ： プレートまたはブリンクOFF
タイトル部 ： タイトル部のみプレートまたはブリンク
データ部 ： データ部のみプレートまたはブリンク
行全体 ： タイトル部、データ部両方をプレートまたはブリンク

ブリンク速度　　:ブリンク速度を設定します。
スルー ： 変更しない
数値 ： 30～300フィールドの範囲で設定します。

「OK」ボタンをクリックするとアラーム設定が有効になります。

4. イベント編集ダイアログ

このプリセットのイベントを設定します。



イベントリストから、編集を行うイベントを選択します。

イベントリストを右クリックすると、選択したファンクションのコピー、削除等が行えます。

名称を変更する場合は、「名称」のテキストボックスに半角英数カタカナ16文字以内で入力します。

ファンクションを使用する場合は「有効」チェックボックスをONにします。

条件

ピンメイク　　:GPIのメイク条件を設定します。
グレーのピン番号は、TAKE/TALLY設定で「TALLY」に割り当てられているピンです。(→P-10)
ON ： メイクする
OFF ： メイクしない
スルー ： 状態不問

ファンクション　　:条件に割り当てるファンクションをリストから選択します。
割り当てない場合、「なし」を選択します。
選択ファンクションは、直下のテキストボックスに簡易情報が表示されます。

ピンメイク・指定ファンクションのAND：GPI入力とファンクションの条件を両方満たしているときにアクションを実行します。

ピンメイク・指定ファンクションのOR：GPI入力とファンクションどちらか片方の条件を満たしているときにアクションを実行します。

アクション

ピンメイク	：GPIのアクションを設定します。 グレーのピン番号は、TAKE/TALLY設定で「TAKE」に割り当てられているピンです。（→P-10） *ON* ： メイクする *OFF* ： メイクしない *スルー* ： 変更しない
ファンクション	：アクションに割り当てるファンクションをリストから選択します。 割り当てない場合、「なし」を選択します。 選択ファンクションは、直下のテキストボックスに簡易情報が表示されます。
レベル	：イベント条件を満たしている間のみアクションを実行します。
パルス	：イベント条件を満たしたとき、指定時間の間だけアクションを実行します。指定時間は、「幅」テキストボックスで1～255の範囲で設定します。
トグル	：イベント条件を満たすたびに、アクションの実行/停止を切り替えます。

「OK」ボタンをクリックするとイベント設定が有効になります。

5. パケット情報表示設定ダイアログ

このプリセットのパケット情報表示を設定します。

モニター1、2の設定切り替えはタブで行います。

共通設定

表示	:表示状態の設定を行います。
	ON ： 表示する
	OFF ： 表示しない
文字サイズ	:文字サイズの設定を行います。
	大 ： 文字サイズ「大」で表示
	小 ： 文字サイズ「小」で表示
表示位置H、V	:表示位置を設定します。「H」は横方向、「V」は縦方向です。
	スルー ： 変更しない
	数値 ： Hは0～1919、Vは0～1079の範囲で設定します。
ブリンク速度	:ブリンク速度を30～300フィールドの範囲で設定します。
エッジ	:エッジ表示の設定をチェックボックスで行います。有効の時、エッジを表示します。
文字色、エッジ色	:色の設定を行います。「Y」、「Pb」、「Pr」ごとに設定します。
	数値 ： 0～15の範囲で設定します。

行設定

行リストを右クリックすると、選択した行のコピー、削除等が行えます。名称を変更する場合は、「名称」のテキストボックスに半角英数カタカナ16文字以内で入力します。

表示	:表示状態の設定を行います。
	ON ： 表示する
	OFF ： 表示しない（以降の行は詰められます）
	空白 ： 空行

名称　　:行情報の名称を半角英数カタカナ16文字以内で入力します。

タイトル　　:タイトルの表示形式を設定します。

デフォルト :あらかじめ定められた文字列を表示する

（名称）： 名称で設定した名称をタイトルとして使用する

OFF ： タイトルを表示しない

プレート　　:プレート表示を設定します。

行全体 ： タイトル、データ部両方にプレート表示を行う

タイトル部 ： タイトル部のみプレート表示を行う

データ部 ： データ部のみプレート表示を行う

OFF ： プレート表示を行わない

ブリンク　　:ブリンク表示を設定します。

行全体 ： タイトル、データ部両方にブリンク表示を行う

タイトル部 ： タイトル部のみブリンク表示を行う

データ部 ： データ部のみブリンク表示を行う

OFF ： ブリンク表示を行わない

表示形式　　:データの表示形式を設定します。

定義文字列（定義外領域は16進数表記）： ARIB STD-B39で
定義されたデータを表示する
（プライベート領域などの定義外データは、16進数表記されます）

16進数 ： 16進数表記で表示する

10進数 ： 10進数表記で表示する

ASCIIコードによる文字列 ： アスキーコードで文字列表示する

ARIB STD-B5定義コードによる文字列 :発局コードと同一の
文字コードセットで文字列表示する

なし（タイトルのみ表示）： データ部を表示しない

モニタリング対象　　:ARIB STD-B39で定義されたパケットデータの、どの部分の内容を表示するかを設定します。表示形式で「定義文字列（定義外領域は16進数表記）」選択時に設定可能です。

モニタリング先頭ワード　　:データパケットのどのワード位置から表示を行うかを指定します。表示形式で「16進数」、「10進数」、「ASCIIコードによる文字列」、「ARIB STD-B5定義コードによる文字列」選択時に設定可能です。ワード位置によって、隣のテキストボックスにワード名が表示されます。0～261の範囲で設定します。

モニタリングワード長　　:モニタリング先頭ワードで指定したワード位置から
何ワード間表示を行うかを指定します。
表示形式で「16進数」、「10進数」、「ASCIIコードによる文字列」、「ARIB STD-B5定義コードによる文字列」選択時に設定可能です。
1～32の範囲で設定します。

「OK」ボタンをクリックするとパケット情報表示設定が有効になります。

6. パケット送出ダイアログ

映像入力の代わりにアプリケーション側で生成したパケットを、QRS-70Bに流し込むことができます。

位置	:ワード位置を指定します。 ワード位置によって、隣のテキストボックスにワード名が 表示されます。
データビット	:パケットパターンをボタンで設定します。「ALL」をクリックすると、 全てのビットを有効または無効に一括設定されます。
全体	:現在のパケットパターンを表示しています。 「ALL 0x00」、「ALL 0xFF」をクリックすると、全てのワードを 一括設定します。
ECC(RS符号)	:誤り訂正符号の使用を設定します。 *使用する*:誤り訂正符号を使用する *使用しない*:誤り訂正符号を使用しない
状態	:QRS-70Bとの通信状態を表示します。 *接続中(送信機)* : 送信機と接続中 *接続中(受信機)* : 受信機と接続中 *切断中またはメニュー中* : 通信を行っていない
ファイル指定	:送信機プリセットファイルのデフォルトファンクションを パケットパターンに反映します。
送出実行	:パケット送出を実行します。 通信を行っていないときは、選択できません。
閉じる	:パケット送出を終了し、メインウィンドウに戻ります。

一度送出したパケットは、別のパケットパターンを送出するまで有効です

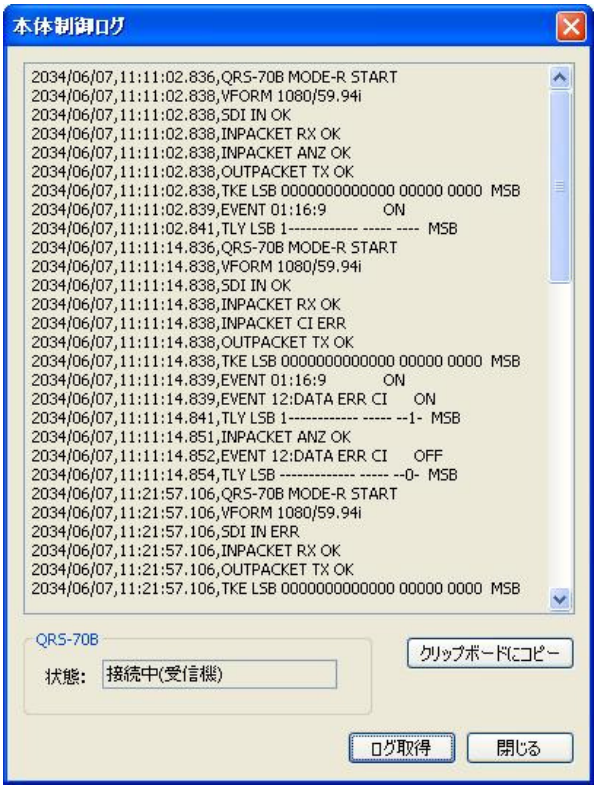
7. パケットキャプチャーダイアログ

QRS-70Bに入力されているパケットまたはQRS-70Bから出力しているパケットをキャプチャーし、表示することができます。

位置	:ワード位置を指定します。 ワード位置によって、隣のテキストボックスにワード名が表示されます。
データビット	:現在のワード位置のパケットパターンを表示します。
全体	:キャプチャーしたパケットパターンを表示しています。 キャプチャーを行っていない状態では、全て「000」が表示されます。
状態	:QRS-70Bとの通信状態を表示します。 *接続中(送信機)* : 送信機と接続中 *接続中(受信機)* : 受信機と接続中 *切断中またはメニュー中* : 通信を行っていない
キャプチャーソース	:キャプチャーを行うパケットをラジオボタンで選択します。 QRS-70Bの入力/出力パケットから選択します。
キャプチャー実行	:パケットキャプチャーを実行します。 通信を行っていないときは、選択できません。
閉じる	:パケットキャプチャーを終了し、メインウィンドウに戻ります。

8. 本体制御ログダイアログ

QRS-70Bに記録されている制御ログを取得し、表示することができます。



状態　　:QRS-70Bとの通信状態を表示します。

接続中(送信機) : 送信機と接続中

接続中(受信機) : 受信機と接続中

切断中またはメニュー中 : 通信を行っていない

クリップボードにコピー　　:ログウィンドウに記録されている内容を
クリップボードにコピーします。

ログ取得　　:ログ取得を実行します。
通信を行っていないときは、選択できません。
ログの量によっては、処理時間がかかることがあります。

閉じる　　:ログ表示を終了し、メインウィンドウに戻ります。

9. 通信設定ダイアログ

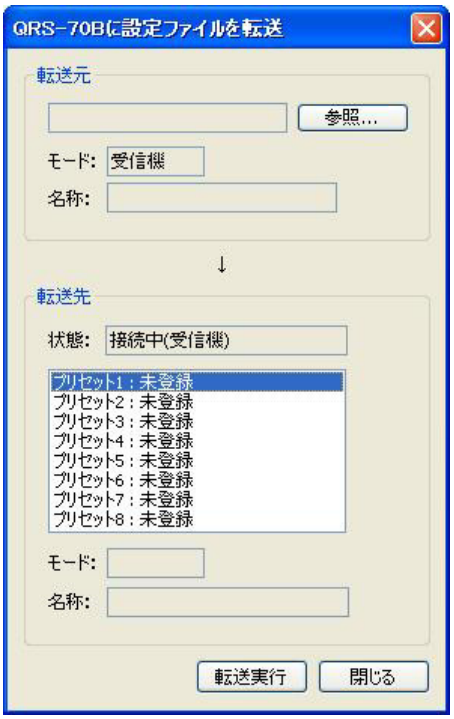
QRS-70Bと接続するために使用するCOMポートを指定します。

「OK」ボタンをクリックすると通信設定が有効になります。

10. 設定転送ダイアログ

アプリケーションで作成したプリセットをQRS-70Bに転送することができます。

QRS-70Bのプリセットリストが表示されます。転送先のプリセット番号を選択して「転送実行」ボタンをクリックします。



転送元

参照... ：転送したいプリセットファイルを選択します。

モード ：開いているプリセットファイルの
送信機/受信機モードを表示します。

名称 ：プリセットの名称を表示します。

※設定転送ダイアログを開いたときは、現在編集中の
プリセットが開かれている状態になります。

転送先

状態 ：QRS-70Bとの通信状態を表示します。

接続中（送信機）： 送信機と接続中

接続中（受信機）： 受信機と接続中

切断中またはメニュー中 ： 通信を行っていない

モード ：選択中プリセットの送信機/受信機モードを
表示します。

名称 ：選択中プリセットの名称を表示します。

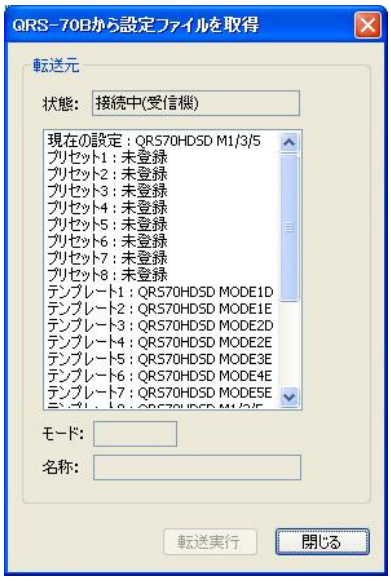
転送実行 ：プリセットの転送を実行します。
通信を行っていないときは、選択できません。
1分ほど処理時間がかかります。

閉じる ：設定転送を終了し、メインウィンドウに戻ります。

11. 設定取得ダイアログ

QRS-70Bに登録されているプリセットをアプリケーションに転送することができます。

QRS-70Bのプリセット、テンプレートリストが表示されます。取得したいプリセット、テンプレートを選択して「転送実行」ボタンをクリックします。



転送元

状態　　：QRS-70Bとの通信状態を表示します。

接続中（送信機）： 送信機と接続中

接続中（受信機）： 受信機と接続中

切断中またはメニュー中 ： 通信を行っていない

モード　：選択中プリセットの送信機/受信機モードを表示します。

名称　　：選択中プリセットの名称を表示します。

転送実行：保存先を指定後、プリセットの取得を実行します。
通信を行っていないときは、選択できません。
1分ほど処理時間がかかります。

閉じる　：設定取得を終了し、メインウィンドウに戻ります。

7. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

（文中の→は対処方法を示しています）

現象　通信できない。

原因　・RS-422ケーブルは正しく接続されていますか？

・本体の電源が切れていませんか？

・本体がメニュー表示中ではありませんか？

・ピン変換ケーブルを使用していますか？

・使用するCOMポートは合っていますか？

→ピン変換ケーブルの仕様はP-31「8. ピン変換ケーブル仕様」を参照してください。

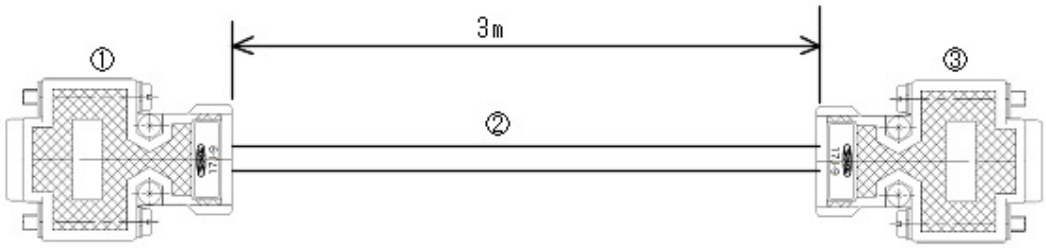
現象　パケットを送出できない。

原因　・QRS-70B側のパケット入力ソース設定は正しいですか？

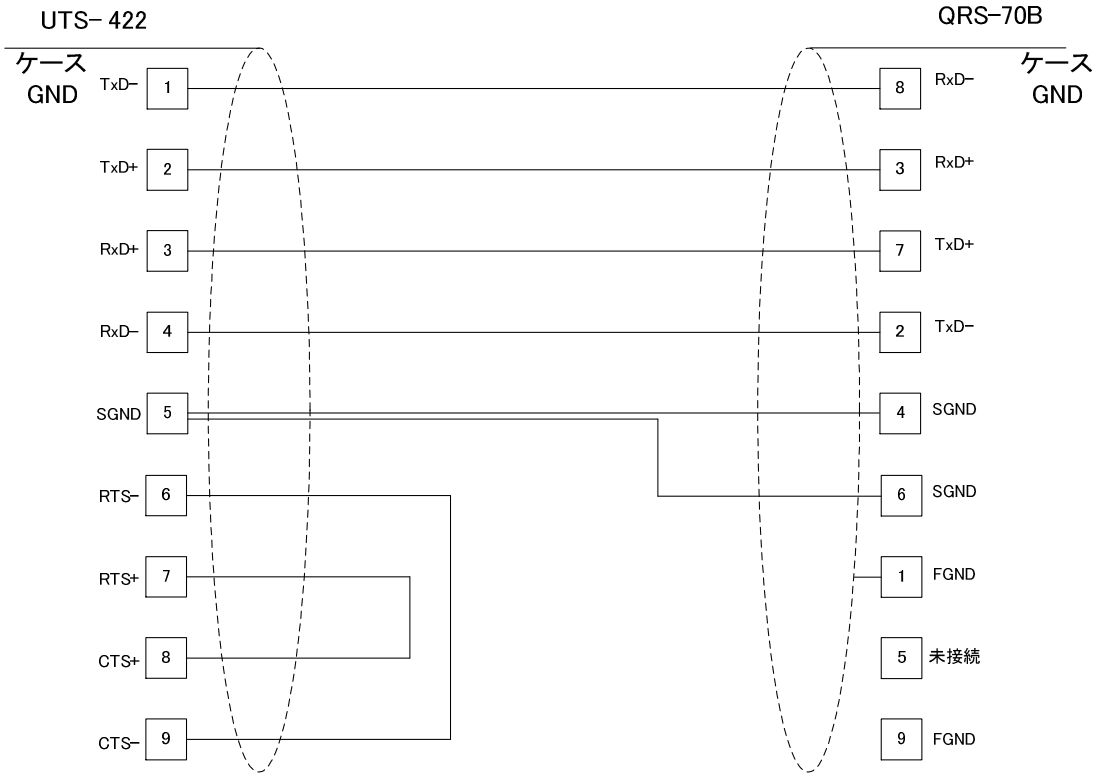
→別冊「QRS-70B取扱説明書」を参照してください。

8. ピン変換ケーブル仕様

1. 外観



2. 配線



3. 使用部品

No.	型番	メーカー名	個数	備考
1-1	HDEB-9S(05)	ヒロセ電機	1	UTS-422 と接続
1-2	17JE-09H-1C-CF	第一電子工業	1	
2	スーパーフレックス ESVP 7/0.1mm×4P	坂東電線	1	
3-1	HDEB-9PF(05)	ヒロセ電機	1	QRS-70B と接続
3-2	17JE-09H-1C-CF	第一電子工業	1	

御使用各位　殿

ビデオトロン株式会社
製造技術部

緊 急 時 の 連 絡 先 に つ い て

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。
ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ
適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社　　製造技術部
〒193-0835　東京都八王子市千人町２－１７－１６
TEL　042-666-6329
FAX　042-666-6330
受付時間　8:30～17:00
e-mail:　cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話　042-666-6311
緊急時　090-3230-3507
受付時間　9:00～17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

無断転写禁止

・このファイルの著作権はビデオトロン株式会社にあります。

・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。